



[公財] 日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 2015年 7月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

公益財団法人日本太鼓財団 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:info@nippon-taiko.or.jp

第19回日本太鼓チャリティコンサートを開催 「公益財団法人 笹川記念保健協力財団」の事業活動を支援



(フィナーレ)

6月18日(木)、恒例となった日本太鼓チャリティコンサートを日本財団の助成事業として草月ホール(東京都港区)にて開催いたしました。今回は、世界のハンセン病根絶と、ハンセン病に対する理解を深め、これに伴う偏見・差別をなくし、患者・回復者とその家族が自立していく社会の実現を目指している「公益財団法人笹川記念保健協力財団」を支援するために実施いたしました。

公演には各国の在日大使、政・官・財界各分野で活躍されている方をはじめ、約300名の方々にご出席いただき、会場に展示された「笹川記念保健協力財団」の活動を紹介するパネルが、多くのお客様の関心を集めました。

開演に先立ち、主催者を代表して塩見和子理事長の挨拶の後、共催者を代表して「笹川記念保健協力財団」紀伊國献三会長にご挨拶をいただきました。当財団加盟708団体から選ばれた4団体に加え、昨年11月に開催された「第11回日本太鼓シニアコンクール」で名人位に輝いた高野右吉氏(埼玉・高野右吉と秩父社中)と、本年3月に開催された「第17回日本太鼓ジュニアコンクール」の優勝チーム「橘太鼓『響座』ジュニア」(宮崎)が出演し、6団体による演奏が行われました。

まず、「北海いでゆ太鼓」(北海道)は北海道で伝承されている北海太鼓の流れを汲む曲を披露しました。「飯坂八幡神社祭り太鼓保存会」(福島)は、飯坂温泉に伝わる祭り太鼓を勇ましく表現しました。知的障害の皆さんによる「NPO法人太鼓の楽校太

鼓一家“虹”(徳島)は、阿波踊りを交えた立派な演奏で大きな拍手を浴びていました。

「坂井市無形民俗文化財火の太鼓保存会」(福井)には、約400年前に坂井市三国地方を襲った大嵐を鎮めるため打ち鳴らしたとされる神事の太鼓を披露して頂きました。昨年のシニアコンクールで名人位を獲得した高野右吉氏(埼玉・高野右吉と秩父社中)が熟練した伝統の味を披露し、秩父夜祭で山車が練っているような雰囲気を出してお客様を楽しませました。最後は「橘太鼓『響座』ジュニア」(宮崎)の演奏です。第17回日本太鼓ジュニアコンクールにおいて優勝に輝いた子供たちが、課題曲「碧空」と自由曲「日向若衆」、「田の神さあ」を披露しました。予選441チーム、4,559名(ブラジル・台湾含む)から選ばれた54チームの激戦を勝ち抜いた演奏にお客様から惜しめない拍手が贈られました。

フィナーレは、出演者全員が舞台上上がり、塩見理事長の音頭でお客様とともに恒例の手締めで幕を閉めました。

コンサート終了後には、帰路に着くお客様のために全団体が通路に並び、会場出口では「橘太鼓『響座』ジュニア」が送り太鼓を演奏しました。観客の皆様は、「太鼓に元気をもらった」「感動した!」と喜んでおられました。

皆様のご協力により1,103,000円の募金が集まり、全額を「笹川記念保健協力財団」にお渡しいたしました。ハンセン病のない世界を目指す活動に大切に役立てていきたいとのことでした。

ご来場頂いた皆様並びに出演者の方々に心より感謝申し上げます。

<出演団体>

1. 北海いでゆ太鼓(北海道)
2. 飯坂八幡神社祭り太鼓保存会(福島県)
3. NPO法人太鼓の楽校太鼓一家“虹”(徳島県)
4. 坂井市無形民俗文化財火の太鼓保存会(福井県)
5. 高野右吉(埼玉県・高野右吉と秩父社中)
*第11回日本太鼓シニアコンクール名人
6. 橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎県)
*第17回日本太鼓ジュニアコンクール優勝チーム

*「笹川記念保健協力財団」よりご寄稿いただきました。



公益財団法人 笹川記念保健協力財団 理事長 喜多 悦子

公益財団法人日本太鼓財団の皆さまのご厚意により、第19回日本太鼓チャリティコンサートを共催させていただくことができました。

私どもにとり、これは、1998年6月以来、2度目の共催でした。このような機会を重ねていただけましたことは、誠に光栄であり、改めまして心より感謝申し上げます。

笹川記念保健協力財団は、1974年5月、日本財団創始者笹川良一氏と、日本において初めてハンセン病特效薬プロミンの合成に成功された石館守三博士の出会いから設立されました。石館博士の「世界のハンセン病対策に協力することは日本に与えられた光栄なる義務だ。」という考えが、かねてよりこ

の病気を世界から根絶したいと願っていた笹川氏の想いと一致したものです。当時75歳の笹川氏と73歳の石館博士のお二人の熱意は、以来今日まで私どもを導いています。

この世界のハンセン病根絶という壮大なミッションは、現在、日本財団笹川陽平会長のWHOハンセン病制圧大使としてのご貢献に繋がっており、私どもは、同会長のリーダーシップの下、日本財団とともに、今後ともハンセン病のない世界を目指して、また、この病気をめぐる偏見や差別の解消に取り組んで参ります。

当夜の太鼓チャリティコンサートでは、全国の代表的な日本太鼓チームに加え、ジュニアコンクールとシニアコンクール各優勝者による圧巻のパフォーマンスが披露されました。各チームの凄ワザと気迫溢れる演奏の数々は、終演後も万雷の拍手が鳴りやまず、参加鑑賞下さった皆さまの大きな感動を知るものでした。

この度は、総額1,103,000円というご芳志を頂きました。日本では、ほぼ制圧できてはいますが、全世界を見わたせば、まだまだ為すべきことは山積しています。頂きましたご厚情を忘れず、ハンセン病に対する人々の理解を深め、偏見・差別をなくし、回復者とその家族が、社会的・経済的に自立できる社会の実現を目指し、有効に活用させていただきます。

ご来場くださいました皆さま、日本太鼓財団関係者の皆さまに重ねて心から御礼申し上げます。

*「北海いでゆ太鼓」、「NPO法人太鼓の楽校太鼓一家“虹”」よりご寄稿いただきました。

北海いでゆ太鼓(北海道) 代表 近藤 則文

この度は、第19回日本太鼓チャリティコンサートに出演させていただき誠に有り難うございました。我々の演奏が少しでも支援に繋がることができたなら、大変嬉しく思います。

北海いでゆ太鼓は、北海道の太鼓の師、故大場一刀氏の技を継承し後世に伝えて、地域の皆さまに貢献することを目的とし、登別市登別温泉第一滝本館を拠点に1998年に発足いたしました。

このチャリティコンサートに、「日本太鼓財団加盟チームが、全部出演するには百年以上かかります。」と言うお話を聞き、そんな貴重なコンサートに抜擢していただき本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

さらに、共演させていただいた、他チームの皆さんの演奏を聞き、自分達とは違うステージ力や意気込みを拝見し大変勉強になりました。今後の活動に活かしていきたいと思えます。

そして本番、今回のコンサートに向け万全の準備をして参りました。緊張感が張り詰めた中、メンバー心一つにして本気で演奏に挑みました。

お客様にすごく喜んで頂きました。お見送りの時も沢山お声をかけていただき、私達これからの活動に沢山の力と元気をいただきました。

今回経験させていただいたことを今後の糧に、北海道の太鼓を日本全国、そして世界へ発信していけるように、これからも努力していきたいと思えます。本当に貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。

最後に、沢山のお力添えをしていただいた日本太鼓財団の皆さまをはじめ、関係各位の皆さま本当にありがとうございました。



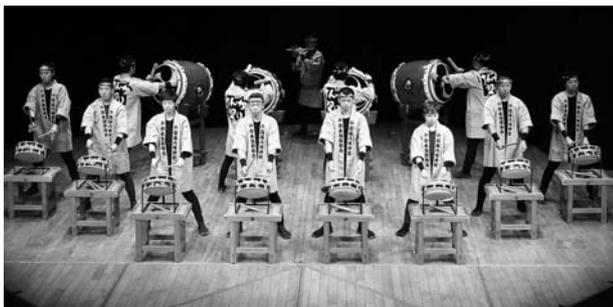
NPO 法人太鼓の楽校太鼓一家“虹”（徳島県） 代表 中西 渉

この度は、日本に数多くある太鼓団体の中で、このような機会を頂いたことに感謝し、大変光栄に思います。私たちは障がいを持っていても、和太鼓を通じて伝統的な祭りの楽しさを笑顔や体で表現して、その気持ちを伝えようと日々練習し精一杯太鼓を打ってきました。当日は太鼓一家らしさが出せたと思います。そして出演された団体の方々とも親睦を深めることができました。また、温かく支援・お手伝い頂きました、日本太鼓財団や東京都支部の方々には大変感謝しております。本当にありがとうございました。

演奏メンバー 中野 智佳子

日本太鼓チャリティコンサートのリハーサルを見て、どこの演奏も迫力があってすごいと思いました。私は、みんなの音を聞いて合わせることを意識しました。本番では、意識するところに気を付けて出来たと思います。最後にお客様をお見送りしたときに「良かったよ」「良い演奏だったよ」などのお言葉を頂きうれしかったです。

演奏を聞いて、印象に残ったグループは宮崎県の橘太鼓「響座」ジュニアです。リハーサルの時もお手本のようなバチさばきで、鳥肌も立ったし練習もすごくしているなということがわかりました。響座に一步でも近づけるよう頑張りたいです。



(飯坂八幡神社祭り太鼓保存会・福島県)



(坂井市無形民俗文化財火の太鼓保存会・福井県)



(高野右吉氏・高野右吉と秩父社中・埼玉県)



(橘太鼓「響座」ジュニア・宮崎県)

<3月のジュニアコンクールに来日した海外3チームより感想文をいただきました>

ブラジル「ブラジリア光太鼓」

チーム代表 広沢ダニエル晃

「あとひとつ！」この言葉は私達光太鼓のメンバーにとって、どれだけ大切な言葉だったんだろう。『あと一日の練習で出来るようになる！』、『あとちょっとの努力で大会に勝てる！』、『あと一粒の涙で願いが叶う！』このような言葉が私達を支え、『日本へ行く』夢を実現するための大きな力になりました。その夢に向かって、練習をかさね、やっとブラ

ジル全国太鼓大会で優勝し、『日本へ行く』ための最初の一步を踏み出しました。優勝したら、さらに練習が厳しくなり、コンクール以外の準備もする必要がありました。新しい太鼓を買ったり、ばちを作ったり、スポンサーを探したり、毎月先生にサンパウロから練習をお願いしたり、ユニフォームを作ったり、夏休みでも毎日練習しました。辛い時もありましたが、目標を達するためであれば、どれだけ苦労してもかまいませんでした。

実際日本に着いて、自分の目で見た和太鼓はとて
もすばらしかったです。ブラジルでは体験できない
和太鼓の技術、振り、音、表情などを生で見るのは
忘れられない経験です。それに他の国のチームに逢
えて、交流できて、良い勉強になりました。うねめ
太鼓の渡辺徳太郎先生と天邪鬼の渡辺洋一先生との
練習では、演奏の講評と自分達になにが必要かとい
う話をよく聞きました。その話の中で一番勉強にな
ったのは、ブラジルでよく言われている「音がそ
ろうことの重要性」と、「意味のない、むしろ音の
邪魔をする振り」です。日本で学んだ事をブラジル
で活かし、これからだんだん強くなって、日本全国
大会で1位がとれるようになって欲しいです。

最後に日本財団と日本太鼓財団にお礼を言いた
いです。私達が日本へ行けるようになるまでは4年間
もかかりました。その4年間には子供達は汗、涙、
努力、協力、ミス、誇り、悲しみ、喜び、そして練
習を重ねてきました。その期間、子供達が成長した
のは太鼓の面だけでなく、人間としても成長しまし
た。他人の想いを考えながら行動すること、自分の
意思でもないけどみんなのためなら頑張るってやるこ
と、責任感をもって最後まで使命を終えること、そ
れで一人では実現できない夢を、力を合わせ皆で実
現させること。ブラジルの子供達の夢を叶えてくだ
さり、心の奥から感謝しています。これから私も子
供達の夢を守るために頑張りたいと思っています。

チームリーダー ハブレ園部ジェップエルソン世仁

私が日本へ行き、得た経験と皆と過ごした時間は
とても良いものでした。4年間日本へ行く事を目標
に努力し、つらい練習に耐えたかいがありました。小
さい頃から日本へ行く事が夢でした。でもいつ、
どうやって行くのか分かりませんでした。太鼓はそ
の夢を叶えてくれ、さらに日本の強豪達と順位を競
うことができ凄く感謝しています。

アルゼンチン、日本、台湾との交流はとて
もいい経験になったと思います。国の違う知らない人と
日本語で話すのは少し恥ずかしかったけど勇気を出
して話すことが出来ました。でも上手いかわず英語と
スペイン語と日本語を混ぜながら話したりしてとて
も楽しかったです。ブラジルに帰った今でもネット
を通じてあの時の事を懐かしみながら連絡をとって
います。

日本で一番凄と思ったことは、皆ちゃんと規律
を守っている事でした。時間を守る事、整理整頓が
上手い事、相手への礼儀を忘れない事、大会の中だ
けではなく、外に出ても同じような事が出来ている
から尊敬しました。ブラジルの太鼓がまだまだだ
という事も思い知らされました。この経験を活かし、
光太鼓も同じような事が出来るように、ブラジルの
手本のグループになれるようになりたいです。

浅野太鼓の色々な種類の太鼓に触れ、音を聞き、
感じた時、あと日本の色々な歳の子が打つのを見た
時、力をもらいました。この力を基にブラジルでもっ

とがんばりたいと思います。

他に凄く良いと感じたのは温泉、富士山、桜、宮
本卯之助商店の太鼓館、トイレ、電気製品と日本で
食べたご飯全部です。特に富士山は凄かったです。
信じられないくらい素晴らしい景色でした。そこ
にあって不思議な力を感じました。

日本へ行く事で、日本の文化や言葉をもっと勉強
したくなりました。日本へもう一度行き勉強したい
とも思いました。日本という国の事をもっと好きに
なりました。太鼓財団の皆様には夢を叶えてくれて、
太鼓をもっと好きにさせてくれてとても感謝してい
ます。



(ブラジル・アルゼンチン・台湾チーム)

アルゼンチン「日亜学院・ブエノスアイレス太鼓」

チームリーダー 兼島みか

大きな音を立てないように気をつけながら床に
そっとパチを置く練習、みんなの演奏開始のタイ
ミングがぴったり合うようにホテルの廊下で練習し
た夜のことは今でも忘れられません。みんな一緒に、
その上長い間離れていた栄口カロリーナ先生まで一
緒にいるなんて信じられないことでした。

どこへ行ってもみんなが「おはようございます」
「おつかれさまでした」とエネルギーに挨拶を
交わすのも、お互いに元気付けたり元気付けられ
たりしているようでとても良いことだと思いました。

勇気を出して2回も温泉に入りました。最初
に入った日は恥ずかしくてタオルを巻きつけたまま
入ったので、おばさんに注意されてしまいました。
でもわたしたちにとっては大変なことでした。タ
オルなしで入るのはまるで太鼓の皮を剥ぎ取るよ
うなものですから。いろいろありましたが、温泉の
体験はとてもしラックスできて楽しかったです。

演奏メンバー アモリン・ミシェル、 アモリン・ジャンニク

今回のコンクールでは本当に短い時間でしたが、
他のグループから学んだことがたくさんありまし
た。自分たちの失敗からも学びました。この素晴
らしい体験のおかげでわたしたちグループのレベル

アップ、アルゼンチン太鼓グループのレベルアップのために頑張らなくてはと決意することができました。

私たちの目標は将来太鼓の先生になって、次の世代にこの素晴らしい日本の芸を伝えること、そしてアルゼンチン太鼓グループの技術向上に貢献することです。

台湾「葫蘆墩 Smile 太鼓團」

チーム代表 馮韻怡

再び葫蘆墩 Smile 太鼓團の子ども達と日本太鼓ジュニアコンクールに参加することができ、大変嬉しく感謝の気持ちでいっぱいです。子ども達は太鼓に対する熱意や初心を忘れずに太鼓の練習に励んでいます。今回のメンバーの中には、受験を控えた中学3年生の子もいましたが、迷うことなく参加しました。台湾は勉強を重要視する国ですが、保護者の方も子ども達の夢を応援し続けてくれました。

また、王妙涓理事長のご尽力のお蔭でこのチャンスをいただく事ができました。更に長谷川先生に度々日本から台湾へお越し頂き、子ども達に熱心に指導して頂きました。長谷川先生のご指導のお蔭で「台中伝説」を完成することができ、子ども達は大きく成長することができました。

初日、長野に到着した時、子ども達はとても嬉しく、興奮していました。夕飯の後には太鼓財団の方が江芸珊さんの誕生日を祝ってくださいました。私たちは皆、とても嬉しく、感激いたしました。言語が違って心は一緒、皆家族同様お互いに祝福しあう事ができたとても良い時間でした。

この度は2度目の挑戦でしたので、前回よりも良い成績を出したいと張り切っておりました。また、出発前に6人も風邪を引きましたが全力回復に努めました。

2日目と3日目のリハーサルでは、締め台が台湾より高いため、慣れるまでに時間がかかりました。さらに、バチの動きも合わず、かなり焦っていました。しかし、ホテルに帰ってから、メンバー皆でビデオを見ながら反省し、お互いに励まし合いました。

コンクールの当日は皆に長谷川先生の教え、「自信を持って台湾の心を全力で表現すれば大丈夫です。頑張れ！葫蘆墩 Smile 太鼓團」を伝えました。心を一つに演奏し、激しい競演の中で、再度3位になりました。大変嬉しく、感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に日本太鼓財団塩見理事長に厚くお礼を申し上げます。いつもお会いする度に沢山の励ましを頂いたことが、心の支えになり、ここまで頑張ることができました。そして、7年間ご指導し続けて来て下さった長谷川先生、本当に有り難うございました。また、日本太鼓財団の皆様をはじめ、スタッフの皆様大変お世話になりました。長野県支部のスタッフの皆様にも大変お世話になりました。今回の大会は、葫蘆墩 Smile 太鼓團のメンバーにとって、一生忘れられない良い思い出になりました。この栄光は台湾

の皆のものでも有ります。感謝！感謝！

演奏メンバー 江芸珊

日本太鼓ジュニアコンクールに参加するために日本へ参りました。今回は2回目の参加で、とても楽しみでしたが、前回よりも緊張していました。

「日本へ必ず行くぞ！」という思いで、台湾のコンクールで1位になるために、きつい練習も頑張ってきました。毎回の練習でベストを尽くして、悔いのない様に練習してきました。今回のジュニアコンクールの結果は、前回と同じ3位でしたがとても満足しています。なぜなら、結果以上に得たものが大きかったからです。私達は練習をする過程で、つらい時でも苦しみに耐えてネバーギブアップの精神で頑張る事の大切さ、自分の夢に向かって真剣に努力することの楽しさを学ぶ事ができました。

リハーサル中、日本各地から集まったチームの皆が一生懸命太鼓を演奏していたことにとっても感動しました。心のこもった演奏が、観客の方に感動を与えるという事を改めて実感しました。

我々も曲の意味を噛み締め、表現を工夫し、出来るだけ一番良い演奏をお見せしたいと皆で協力しました。しかし、演奏中に少々ミスがありました。でも一緒に頑張ってきた大事な仲間ですので、誰も責めることはできません。今回の反省を活かして、これからもっと皆で努力し、台湾代表として再び日本へ参りたいと思います。

日本滞在中、私は嬉しい事に誕生日を迎えました。財団の方が祝ってください、とても嬉しかったです。一生忘れることのない誕生日となりました。

日本太鼓ジュニアコンクールに参加出来るのは、たくさんの方のご支援、ご協力のお蔭です。心から感謝致します。また、メンバー同士の協力がなければできません。今回の素晴らしい経験を、これからの太鼓の練習、人生の中で活かしていきたいと思えます。これからも不屈の精神で太鼓の練習に励んでいきたいと思えます！本当に有り難うございました。



(台湾チームのジュニアコンクールでの演奏)

各地で講習会を開催！

＜第53回日本太鼓全国講習会&第6期公認指導員更新研修会(静岡)＞

6月13・14日(土日)、静岡県支部主管の全国講習会を島田市の「島田市川根文化センターチャリム21」にて実施いたしました。地元静岡県をはじめ、20都府県から153名が受講しました。開会式では、塩見理事長、染谷島田市長、中原支部長からそれぞれ励ましと歓迎の挨拶があり2日間の講習会が始まりました。今回の全国講習会では障害がある受講生2名が5級基本講座に挑戦し合格しました。なお、今年度が公認指導員の更新条件となる更新研修会の開催年となり、第1回目を実施しました。

- | | | | | | |
|---------|------|-------------|-----------|-------|--|
| ○基本講座講師 | 総合指導 | 古屋 邦夫 | ○専門講座講師 | | |
| 3級基本講座 | | 安江 信寿 | 尾張新次郎太鼓講座 | 安井 富 | |
| 4級基本講座 | | 景山 道隆・若山 雷門 | 大江戸助六太鼓講座 | 小林 正道 | |
| 5級基本講座 | | 松枝 明美 | 天邪鬼太鼓講座 | 渡辺 洋一 | |

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

- 1級検定 10名受験 9名合格
- 2級検定 16名受験 14名合格(7名認定)
- 3級検定 12名受験 12名合格
- 4級検定 27名受験 27名合格
- 5級検定 43名受験 43名合格

◇第6期公認指導員更新研修会
46名が更新手続きを完了しました。



(尾張新次郎太鼓講座)

＜第64回日本太鼓支部講習会(青森)＞

4月18・19日(土日)、青森県支部主催による支部講習会が「七戸中央公民館」で行われました。今回は青森県内から20名が参加しました。開会式では主催者代表として附田名誉支部長、当財団大澤事務局長からそれぞれ歓迎と励ましの挨拶があり2日間の講習会が始まりました。

- | | | |
|---------|------|-------|
| ○基本講座講師 | 総合指導 | 古屋 邦夫 |
| 5級基本講座 | | 齋藤 通夫 |

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

- 5級基本講座 20名受講 17名受験 17名合格



(5級基本講座)

＜第65回日本太鼓支部講習会(茨城)＞

5月16・17日(土日)、茨城県支部主催による支部講習会が「取手福社会館」で行われました。今回は茨城県内から26名が参加しました。開会式では主催者代表として福崎支部長、藤井取手市長、阿部市議会議員、そして当財団中西常務理事からそれぞれ歓迎と励ましの挨拶があり2日間の講習会が始まりました。

- | | | |
|---------|------|-------|
| ○基本講座講師 | 総合指導 | 古屋 邦夫 |
| 5級基本講座 | | 渡辺 洋一 |

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

- 5級基本講座 26名受講 15名受験 15名合格



(福崎支部長の挨拶)

成田太鼓祭に参加 ～全国太鼓情報発信基地に多くのお客様～

4月18・19日(土日)、千葉県成田市において「成田太鼓祭」が開催され、今年は22万5千人が訪れました。千葉県支部、千葉県太鼓連盟主催、当財団の共催により設置した「全国太鼓情報発信基地」のブースにはおよそ6千人のお客様が訪れ、展示した事業紹介のパネルをご覧いただいたほか、浅野太鼓のご協力を得て設置した大太鼓をお客様に実際に叩いてもらうコーナーでは、多くの方々が太鼓に親しまれていました。



(全国太鼓情報発信基地)

各種会議を開催

<理事会>

6月9日(火)に、2015年度理事会が開催され、次の事項が審議、承認されました。

1. 2014年度事業報告及び決算報告について
2. 評議員会の開催について

<評議員会>

6月24日(水)、2015年度定時評議員会が開催され、次の事項が審議、承認されました。

1. 2014年度事業報告及び決算報告について

<代議員会>

7月2日(木)に、第18回代議員会と第54回運営委員会・第54回技術委員会の合同会議が東京都港区の笹川記念会館で開催されました。

代議員会には、46支部中、鳥取、広島、沖縄を除く43支部、一般会員、賛助会員、財団事務局が出席、総勢97名により開会しました。

冒頭、笹川良一氏、津田元会長、小口・池田両元副会長の4氏と東日本大震災の犠牲者など故人に対し黙祷の後、議事に入りました。議事、承認された事項は次の通りです。

1. 2014年度事業報告及び決算報告について
2. 2015年度事業計画及び収支予算について
3. その他

日本太鼓ジュニアコンクール開催要領の変更に伴い、地区コンクールに関する基準と地区区分が次の通りとなる旨の説明があった。

<北海道>北海道道東、道央、道北、道西、道南

<東北>青森、岩手、秋田、山形、宮城、福島

<関東>栃木、茨城、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川

<中部>富山、石川、福井、新潟、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知

<近畿>三重、滋賀、京都、奈良、大阪、兵庫、和歌山

<中国・四国>島根、鳥取、岡山、広島、山口、香川、徳島、愛媛、高知

<九州>福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

なお、地区コンクールの実施にあたっては以下の基準を満たしていることが必要となります。

- ・事前に運営委員会の承認を得ること
- ・参加支部数が地区の過半数以上であること
- ・参加団体数が21団体以上であること

不明な点は財団事務局にご確認の上、実施するようにお願いします。

<運営委員会・技術委員会>

1. 2014年度事業報告及び決算報告について
2. 2015年度事業計画及び収支予算について
助成金交付事業の追加決定について
3. 公認指導員更新研修会の実施について
4. その他

今回の合同委員会は、全委員が出席、日本財団からも担当の池内賢二・溝垣春奈両氏が陪席されました。ジュニアコンクールを中心に審議され、原案通りに承認されました。

助六太鼓が囲碁大会のレセプションに演奏協力

5月7日(木)、世界で活躍する20歳以下の囲碁棋士を対象とした「グロービス杯世界囲碁U-20」のレセプションにおいて(公財)日本棋院からの出演依頼を受け、助六太鼓が演奏を披露いたしました。

当日会場には世界各国から集まった若手の囲碁棋士を含む、約100名の観客が助六太鼓の粋な演奏に見入っていました。



(助六太鼓の演奏)

大竹英雄評議員が旭日中綬章受章!



当財団の大竹英雄評議員が、春の叙勲で旭日中綬章を受章されました。大竹評議員は、囲碁棋士として名人や棋聖など数多くのタイトルを獲得され、長年にわたる囲碁界への功績が認められたものです。心よりお祝い申し上げます。

第19回日本太鼓全国フェスティバル

9月27日(日)に岡山県の倉敷市芸文館で日本太鼓全国フェスティバルが行われます。全国各地を代表する11チームによる演奏をご覧ください。

入場料:前売券2,500円 当日券3,000円 チケットぴあにて販売中! TEL:0570-02-9999(コード:264-428)

出演:岡山県合同チーム(岡山)、太鼓道場「風の会」(山形)、善通寺龍神太鼓(香川)、

尾張新次郎太鼓保存会(愛知)、御諏訪太鼓保存会(長野)、倉敷天領太鼓(岡山)、

銚子はね太鼓保存会(千葉)、橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎・ジュニアコンクール優勝チーム)、

御陣乗太鼓保存会(石川)、石見神代神楽上府社中(島根)、豊の国ゆふいん源流太鼓(大分)

事務局だより

第54回日本太鼓全国講習会(宮城県)

期日：2015年9月12・13日(土日)

主管：東北太鼓連合、日本太鼓財団宮城県支部

会場：田尻文化センター(大崎市田尻沼部字富岡166)

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

基本講座

3級基本講座

鈴木 孝喜

4級基本講座

渡辺徳太郎

5級基本講座(初心者講座) 松枝 明美・齋藤 通夫

専門講座

助六太鼓講座(複式単打法)

今泉 豊(東京)

八丈太鼓講座(単式複打法)

菊池 修(東京)

大太鼓講座(単式単打法)

山内 強嗣(静岡)

*第6期公認指導員更新研修会併設

申込先：(公財)日本太鼓財団

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2

TEL 03-6229-5577 FAX 03-6229-5580

お問合せ：日本太鼓財団宮城県支部

担当：今野 境子(副支部長)

携帯 090-2368-4045

申込締切：8月24日(月)

第66回日本太鼓支部講習会(大阪府)

期日：2015年8月22・23日(土日)

主催：日本太鼓財団大阪府支部

会場：泉佐野市立大木小学校(大阪府泉佐野市)

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

5級基本講座 吉岡 賢次

お問合せ

日本太鼓財団大阪府支部 事務局長 東 正人

〒598-0023 泉佐野市大木2247-1(福)清光会

TEL 072-459-7613 FAX 072-459-7250

携帯 090-3700-6808

第67回日本太鼓支部講習会(兵庫県)

期日：2015年10月17・18日(土日)

主催：日本太鼓財団兵庫県支部

会場：新宮ふれあい福祉会館(兵庫県たつの市)

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

4級基本講座 松枝 明美

5級基本講座 吉岡 賢次

第68回日本太鼓支部講習会(北海道)

期日：2015年10月24・25日(土日)

主催：日本太鼓財団北海道道西支部

会場：幌向総合コミュニティセンターほっとかん(北海道岩見沢市)

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

地獄太鼓講座(複式単打法) 橋本 光司(北海道)

3級基本講座 今池 薫

*第6期公認指導員更新研修会併設

第12回日本太鼓シニアコンクール出演者募集!

期日：2015年11月22日(日) 開演14:00(予定)

会場：輪島市文化会館(石川県輪島市)

主催：(公財)日本太鼓財団、(公社)石川県太鼓連盟、

(一財)石川県芸術文化協会、北國新聞社

出場資格：①個人が審査の対象となる場合は、大会当日満60歳以上であること。

②団体が審査の対象となる場合は、全員が大会当日満60歳以上であること。

演奏時間：5分以内 表彰：名人位・準名人・特別賞等

費用：全ての費用は出場者の自己負担(参加料は不要)

申込先：(公財)日本太鼓財団

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2

TEL 03-6229-5577 FAX 03-6229-5580

申込締切：9月30日(水)

第17回日本太鼓全国障害者大会

10月4日(日)石川県の石川県こまつ芸術劇場うららにて、第17回日本太鼓全国障害者大会が開催されます。皆様のご来場をお待ちしております。

期日：2015年10月4日(日)

開場11:30 開演12:00 終演17:00(予定)

会場：石川県こまつ芸術劇場うらら(石川県小松市)

入場料：無料

出場団体：30団体(予定)

主催：公益財団法人日本太鼓財団

共催：社会福祉法人富岳会

主管：日本太鼓財団石川県支部、(公社)石川県太鼓連盟

後援：厚生労働省、文化庁、石川県、小松市、

(予定)小松市教育委員会、(社福)全国社会福祉協議会他

協賛：日本財団

助成金事業追加決定

今年度の助成金交付事業について、追加募集しておりましたが、運営委員会において次の事業が決定いたしました。これをもって、予定の35事業全てが確定しました。

2015年9月19・20日(土日) 無形文化財研究会(城山太鼓太鼓道場・石川県白山市)

2015年11月14・15日(土日) 星野村まつり太鼓コンサート(星のふるさと公園平和の広場・福岡県八女市)

なお、2016年度の助成金交付事業の申請締切は本年12月末日までとなりますので、期限内にお申込みください。